GI-POF 技術を応用した内視鏡システム開発に対するご協力のお願い

研究責任者・実務責任者　　所属　運動器生体工学寄附研究講座　職名　特任教授
氏名　　名倉武雄
連絡先電話番号　03-5363-3812(医局直通)

このたび当院では、慶應義塾大学医学部篤志会会員で、死後、ご献体いただいた方々の解剖献体を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「８　お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

１　対象となる方

研究実施許可日より 2027 年 3 月 31 日までの間に、慶應義塾大学医学部篤志会を通じ慶應義塾大学医学部解剖学教室にご献体頂いた方

２　研究課題名

承認番号　　20250167
研究課題名　　GI-POF 技術を応用した内視鏡鏡システム開発

３　研究組織

研究代表機関	研究責任者
慶應義塾大学医学部	（特任教授）（名倉　武雄）

研究協力機関	機関の長
エア・ウォーター株式会社	（ウェルネス開発センター長）（加藤　哲也）

４　本研究の目的、方法

近年において、医師は高度で正確な検査手技や手術手技が要求されており、一方では、さらなる医療の進歩が期待されています。そのような社会の期待に応えるために解剖献体を用いた極細内視鏡の開発を行います。本研究で開発する極細内視鏡は、慶應フォトニクスリサーチインスティテュートにおいて開発された光ファイバー・GI-POF レンズを用います。この技術により極めて細く（直

径 0.5 ㎜）かつ高画質な内視鏡となります。この内視鏡により全身麻酔や入院をすることなく関節鏡・内視鏡検査が外来などで行えるようになるため、患者様に様々なメリットをもたらします。
本研究では、開発されたプロトタイプを用いて献体されたご遺体の関節や外耳道の内部を観察し、内視鏡の評価・改良および観察や治療に必要な道具・手技の開発を行います。

５　協力をお願いする内容

上記のような研究を行い、その収集したデータを解析し、学会発表や論文発表をさせて頂きます。これらのデータをもとにさらなる医療発展に努めます。従いまして、皆様に新たなご協力をお願いすることはありません。

６　本研究の実施期間

研究実施許可日～2027 年 3 月 31 日（予定）

７　外部への資料・情報の提供

1) 本研究で取り扱うご献体の個人情報は、性別と死亡時年齢と死因のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
2) 本研究で取り扱うご献体の情報は、個人情報をすべて削除し、第３者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
3) ご献体の個人情報と、匿名化したデータを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

８　お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。
　また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、試料・情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

住所：〒160－8582　　東京都新宿区信濃町 35 番地
電話：03-5363-3812（医局直通、平日 10 時～16 時対応）
担当者：慶應義塾大学医学部 整形外科学教室
特任教授　名倉武雄

以上